

## 07.04.25 新任職員研修会受講アンケート

### ① 参加者年齢構成

～19歳	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	不明	合計
	9	2	1	1		

### ② 職種

医師 施設長	看護師	介護員	相談員	ケアマネ	PT	OT	ST	その他
	1	7	1		3	1		

### ③ 講義内容

講義1	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	13	0	0	0
講義2	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	12	0	0	1
講義3	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	13	0	0	0
講義4	参考になった	参考にならなかった	どちらでもない	無記入
	8	0	0	5

### ④ 具体的感想

#### 講義1

- ・自分の職種の内容だけでなく「老健」のしくみや現在の取り組みなどを学ぶことができ知識が増えた。
- ・老健施設の報酬算定についての題目は特に内容が入ってきた。リハ職であるが最低限必要な知識であるため自分なりに調べて知識を付けていきたいと思う。
- ・現状当施設でとっている算定も今後の取り組みによって上を目指せるのかもしれない。自身としてそれを実現させるための知識・経験を今後身につけていきたい。
- ・今回の研修で「老健」の意味、成り立ちなどよく理解出来ました。
- ・老健は病院と少し異なり残存機能を維持、向上しつつ利用者らしく安心して過ごす場所であると改めて混じた。看護師として利用者の状態変化や正しい知識と技術で利用者の方と向き合っていこうと思った。
- ・介護老人保健施設についての内容や役割などについて詳しく学び知ることができた。老健の理念と自分が働いている施設の理念をもう一度見直し勉強したいと思う。

- ・日々業務に追われていても老健としての役割や利用者の望む生活とは何か、しっかり意識しながらケアを行っていききたい。
- ・老健の役割を改めて知ることができた。利用者さん、ご家族と施設、お互いにとってどのようにしたらよりよい環境、サービスになるか考えていく事が大事だと感じた。
- ・老健としての役割、機能を改めて学ぶことができた。今まで特養で働いていたため自分の中で乏しかった知識と視点を持つことができた。
- ・老健施設の成り立ちと変遷について知ることができた。L I F EやI C T導入についてはとても興味があった。「事故」という言葉についての話もとても共感する部分だった。
- ・働いている施設でも使えばいいのではないかと思ったI C Tがあり参考になった。特にMe 1 1 +は働きやすくなりそうだなと思った。
- ・自分の職場が現在強化型を目指していた状態だったため大変参考になった。I C Tについて話を聞いたがとてもメリットが強く自分の施設にも合うと感じた。
- ・a a m s 導入で夜間勤務時間を100分以上削減できたのはとても驚きだった。また基本報酬など多くの事を学べた。

## 講義2

- ・相談援助の方法に加え老健の現状を知ることができた。施設の増大によりリスクはかなり大きくなっているんだと痛感した。
- ・リハ職として支援相談員の方から情報をいただいている場面はあったが、業務のイメージ像がつかなくだったので、今回の講義で大枠をつかむことができた。
- ・自身にまだ他行政の仕組みや制度といった知識が不足しているので、今後しっかりと頭に入れていきたい。
- ・施設経営、本人・家族・施設のつながりが強いと思い多種多様な相談を受け対策を練らなければならないと思った。
- ・講義を聞いて支援相談員は老健と自宅間の橋として担っており、利用者とその家族の不安に寄り添い、とても大切な職種であると感じた。今後働いていくうえで支援相談員と情報共有、相談しより利用者にあった医療、介護を提供していきたい。
- ・ただリハビリをするのではなくどのような動作のリハビリをするべきなのか、本人にどのように寄り添ってリハビリをするべきなのか等の考えるべき事がたくさんあるというのを学ぶことができた。
- ・現場で働く専門職と相談員、全員の協力がないと利用者の望む生活は実現できないと改めて感じた。
- ・支援相談員の業務内容を大まかなイメージでしか知らなかったため入所までの流れではどんなことをするのか、入所中退所するまでにどんなことをするのか知ることができた。
- ・私の施設は超強化型なので職場の支援相談員の役割、視点を知ることができた。今回学んだことを大事に支援相談員と関わっていこうと感じた。
- ・支援相談員の役割について理解することができた。利用者や家族のことだけでなく施設経営（数字）についても考えながら日々の業務に当たっていることがよくわかった。
- ・支援相談員は基本資格を持っていければなれると知り興味が湧いた。

- ・相談員の仕事の大切さを再確認できた。腕の良い社会福祉士がいると施設基準が強化型、超強化となっている割合が高いと聞き勉強になった。重要な職種とは知っていたが自分の想像以上で驚いた。
- ・私はできない事に目を向けがちだが強みにも目を向けて支援を行うことが大切だと学べて良かった。

### 講義3

- ・リハビリ＝歩くぬり絵、ストレッチというイメージが強かったが、介護職が行う日常動作もリハビリであるということを再確認できた。
- ・ICF活動・参加に視点を向けて目標設定を行うことが、大事だと認識した。身体機能に目を向けてしまうことが多かったため柔軟に考えていきたいと思う。
- ・全体で協力して利用者（入所者）や家族を支援していく。その方法も様々だということ学んだ。
- ・今まで「リハビリ」とは体を動かすことがリハビリだと思っていたが、体力、心身機能を高めることにより生活するうえでの色々な事がつながり、在宅復帰に繋がると思った。人の生活の支援に繋がると思った。
- ・リハビリは利用者の生活そのものがリハビリとなり、多職種で常に働きかけていくことが大切であると感じた。在宅へ復帰するためにも身体、認知機能の維持向上が必要であるため私自身利用者と関わっていくうえで利用者自身で出来ることを自身で行ってもらい、出来ないところを補っていきたく改めて思った。
- ・支援相談員の方が普段どんなことを考えながら仕事をしているのか、どんな仕事をしているのか知ることができた。
- ・その人のケアを考えるうえで重要なポイントを1つ決めることはケアの方向性の統一に繋がると思った。
- ・リハビリを実施、提供するうえでその人の生活を知り、ニーズを合わせた内容を具体的にしていく事が大事だと知った。また、他職種や家族、地域の人に共有することが大事だと感じた。
- ・利用者が望む生活、価値観があって目標が作られるのだと思った。介護士として他職種と連携し、リハビリや日々の生活でのその方が取り組んでいることを無駄にしないケアに取り組もうと感じた。
- ・利用者の方が在宅生活を想定した生活リハビリについて学ぶことができた。多職種協働で実施することが重要だということがわかった。
- ・リハビリは利用者がやりたことできるようになりたいことなどを多職種、地域と連携して支援しているとわかった。
- ・PTになって2年しかたっていなかったが自分本位での目標設定になりがちなのに気が付いた。身体機能向上だけにとらわれてコミュニケーションの時間が短くなりがちになっていたため会話と傾聴、リハビリをバランス良く行いたい。
- ・食事やお風呂など共通する動作の中にも1人1人のこだわりがあり、そこまで理解してリハビリを進められるようになりたい。

### 講義4

- ・食べることは生きるために欠かせないことである。一方誤嚥・異食など危険な場面もあるためほかの職種と話し合い観察することが必須だと感じた。
- ・一人一人にあった食事を提供することが大切であり、そのために情報収集が必要であると感じた。日々のリ

ハビリ業務から情報収集に力を入れたいと思う。

- ・「食事」が持つ重要性（身体づくり・情報・楽しさ等）を学ぶことができた。
- ・体調の変化で食欲が変化したり、1人1人にあったお食事を提供していく事が大事であることが勉強になった。
- ・利用者が食事を楽しく安全に摂取するためにも日々の食介の中で摂取量の低下に気づいた際には利用者の様々な身体機能をアセスメントし、栄養士の方と相談していくことを心掛けて働いていきたいと思った。
- ・食事についての決まり事や体の構造、嚥下障害についてなど様々なことを知ることができた。
- ・食事はその人の個性が表れるものの一つだと思う。病気の事だけでなく、その人の今の状態、昔の習慣も考える必要があると学んだ。
- ・生きるうえで食事は大事な行為のため食事量が低下した際には「おいしくなかったのかな？」だけでなく様々な原因を考えるべきだと感じた。
- ・老健における食事の役割を知ることができた。ご本人様の自立を助けるためにリハビリの効果を大切にしながら栄養を考えていると学んだ。
- ・嚥下障害について飲み込む機能だけではないということがわかった。舌の麻痺について体の麻痺の逆の事もあるとの話は初めて知ったことで勉強になった。また姿勢については実際に自分でもやってみて大切さを再認識できた。
- ・食事は利用者一人ひとりに合った食事を本人、ご家族と相談しながら決めていくことが大切だと知ることができた。
- ・体調を思うことも大切だがやはり人によっては拒否があると聞いた。この場合は本人、ご家族の気持ちに沿ったメニューの提供と話をしていたが自分的には理想の老健の形の一つだと感じた。
- ・食事ができない理由を多面的な視点で捉えられるように視野を広げていこうと思った。

## その他

- ・今回の講義を通して介護老人保健施設について知ることができた。まだまだ深く知れてないため上司に聞くことや個人の学習で知識を増やし業務に励んでいきたいと思う。
- ・どの話も学びになる実りある時間だった。本日の内容を活かし今後の業務で役立てていければと思う。ありがとうございました。
- ・老健施設の在り方やリハビリ、相談、栄養（食事）が連携され成り立っていることがわかった。
- ・アアムス導入について「起こさないケア」に関してはとても良い考えだと思った。巡回と言えど目が醒めてしまってその後寝付けなくなる方もいると思う。そのような方にとっては睡眠の質の向上につながると思う。しかし全ベッド導入に関してはユニットごとの状態が違う可能性があるので、慎重になる必要があると感じた。またターミナルの方にはとても有効かと思う。常に状況を知れるので介護職だけでなく他職種も対応しやすいと思った。
- ・貴重な話大変ありがとうございました。